2010.6.23　D08035S

TOTO

ウォシュレット®ネオレストX1・X2・X3施工説明書

◆ ウォシュレットはTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

⚠ 警告	⚠ 注意
誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

してはいけない「禁止」の内容です。	必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警　告

水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)
禁止	**指定する電流（交流100V）以外では使用しない** (火災や感電の原因になります。)
禁止	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)
禁止	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
禁止	**車輌・船舶など、移動体への設置はしない** (火災や感電、故障の原因になります。) (便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
アース接続	アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

⚠ 注　意

禁止	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
禁止	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
禁止	便器洗浄ホース部、給水エルボに無理な力を加えない (水漏れの原因になります。)
禁止	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない (水が噴き出します。)
必ず守る	施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
必ず守る	給水フィルターを取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

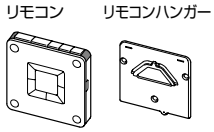
取り付け前のご注意

1.製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2.便器洗浄ホース部を持ってウォシュレット本体を便器にセットしないでください。
3.電源は交流100V(50/60Hz)，定格消費電力はX1;1288W，X2·X3;1388W(ヒーター付の場合はX1;1328W，X2·X3;1428W)です。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4.電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認して下さい。
5.給水圧力範囲は0.05MPa(16.5L/min流動時)～0.75MPa(静止圧)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
6.給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7.**同梱以外の給水ホースを使わないでください。**
8.サウンドリモコンの別売品のACアダプターコードの長さは約2.8mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置してください。
9.インパクトドライバーのような強いトルクで施工しないでください。
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品に問題ありません。

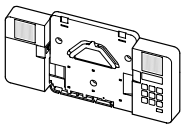
同梱部品

リモコン部品 ※標準リモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。サウンドリモコンはX3のみ同梱されています。

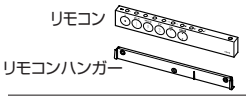
標準リモコン

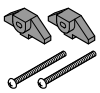


サウンドリモコン(X3のみ)



スティックリモコン

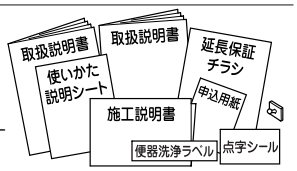




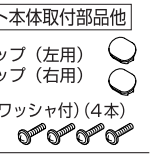
※リモコンの盗難防止用部品が同梱されています。必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。
使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

印刷物

取扱説明書、
サウンドリモコン用取扱説明書(X3のみ)、
施工説明書(本書)、使いかた説明シート
(スティックリモコンタイプのみ)、
延長保証チラシ、申込用紙、フック、点字シール、便器洗浄ラベル



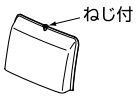
ウォシュレット本体取付部品他



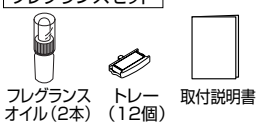
開閉工具

※工具は、施工後必ずお客様にお渡しください。

化粧カバー

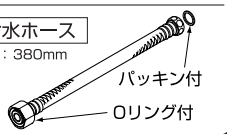


フレグランスセット

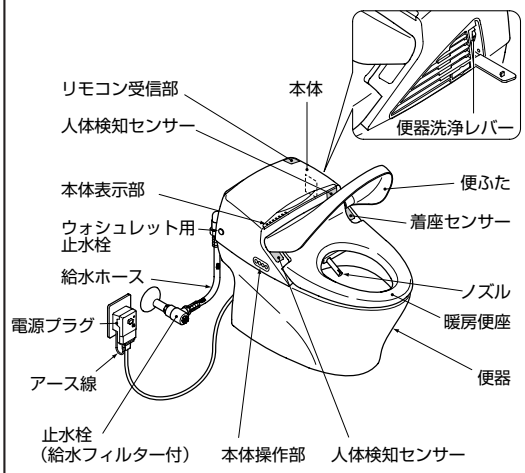


給水ホース

長さ：380mm



各部のなまえ



取付方法

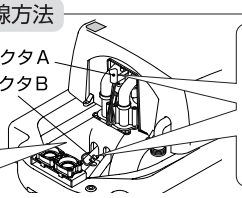
1 ウォシュレット本体の取り付け（ヒータ付便器の場合:凍結防止ヒータの配線接続が必要です）

❶ 便器洗浄ホース接続口の溝に平パッキンが組み込まれていることを確認する
※ゴミを吹き払ってください。

ヒータ付便器の場合 は凍結防止ヒータの配線接続を行ってください。

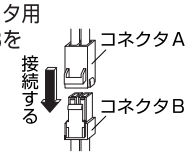
凍結防止ヒータの配線方法

図のように便器にウォシュレット本体を仮置きする



②凍結防止ヒータの配線をこのスペースに収める

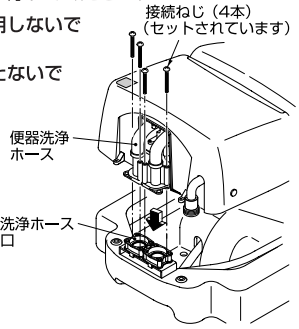
①凍結防止ヒータ用コネクタA・Bを接続する



❷ 便器にウォシュレット本体を置く

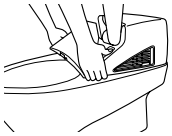
❸ 便器洗浄ホースを接続口に合わせ、接続ねじ（4本）はドライバーを使用し、手で締める
- ●接続口と接続ねじの位置を確実に合わせてください。
- ●接続ねじを均等に締め付けてください。

※電動ドライバーは使用しないでください。
※便器洗浄ホースは持たないでください。



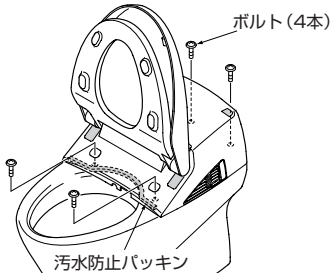
❹ 仮締め

①ウォシュレット本体前面を浮かせた状態(指1本分程度)で、ボルトの取付穴を合わせ、そのままおろす



※汚水防止パッキンのめくれ防止のためです。

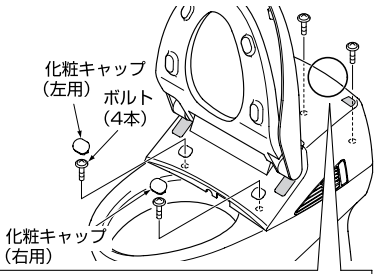
②ボルト(4本)で仮締めする



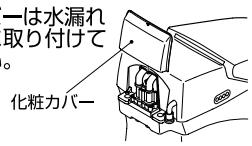
❺ 本締め

ウォシュレット本体と便器の中心を合わせ、ボルト（4本）で確実に固定する

❻ 化粧キャップ（2個：裏面に左右表示あり）を取り付ける



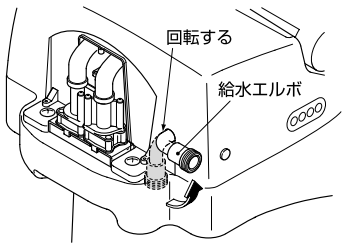
※化粧カバーは水漏れ確認後に取り付けてください。



2 給水ホースの接続

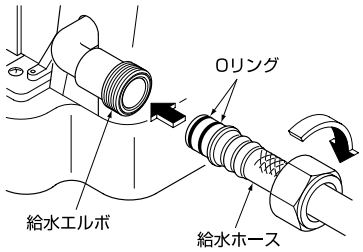
❶ 給水エルボを水平まで回す
（接続しやすくするためです。）

⚠ 注意
給水エルボの根元に無理な力を加えない
- ●水漏れの原因になります。

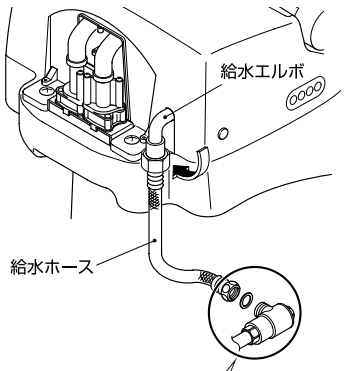


❷ 給水ホースを水平にして給水エルボに差し込み接続する

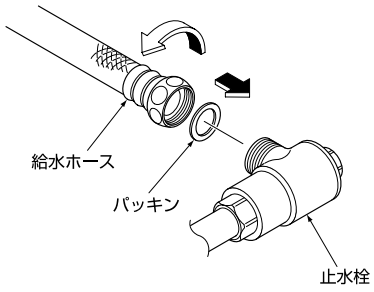
⚠ 注意
給水ホースのOリングにキズを付けない
- ●水漏れの原因になります。



❸ 給水エルボを真下に向ける



❹ 給水ホースを止水栓に接続する
※給水ホースが折れた状態で接続しないでください。



※給水ホースの長さが足りないときは…
下表の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。
（同梱の給水ホースの長さは380mmです。）
お求めはTOTOメンテナンス（株）
TOTOパーツセンター
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
へご連絡ください。

給水ホース長さ違い一覧表

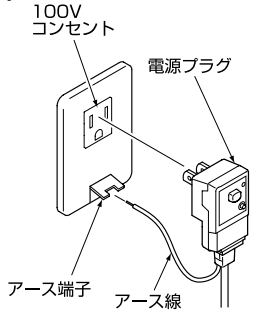
給水ホース長さ(mm)	品　番	希望小売価格(税込)
600	D24016−1ZS	¥3,450(¥3,623)
800	D24016−2ZS	¥3,650(¥3,833)
1000	D24016−3ZS	¥3,850(¥4,043)

- ●品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3 アース線の接続

- ●アース線をアース端子に接続する

※アース端子が無い場合は電気工事店にご相談ください。



4 電源プラグの確認

❶ 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

ヒータ付便器の場合（凍結のおそれがある場合のみ）

便器ヒータ用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒータ用電源プラグに差し込んでください。

❷ 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して正常に作動することを確認する

- 「切（テスト）」ボタンを押す　➡「切表示」ランプが**点灯**する
- 「入（リセット）」ボタンを押す ➡「切表示」ランプが**消灯**する

以上のように作動すれば正常です。

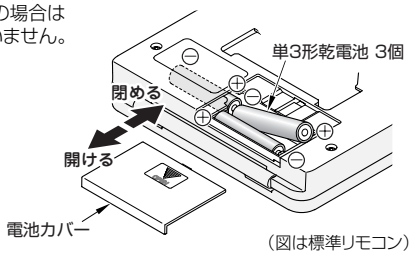
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

5 リモコンの取り付け

※X3は、サウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

❶ 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

※⊕⊖を間違えないでください。
※スティックリモコンの場合は電池を2個しか使いません。（予備1個）



（図は標準リモコン）

❷ 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める

【操作性の確認】

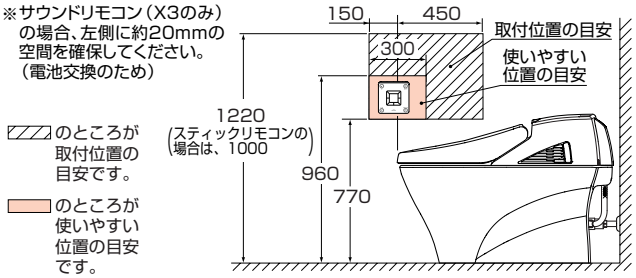
- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。

※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。スイッチを押してノズルが伸縮することを数回確認してください。

【作動の確認】

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

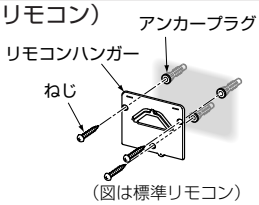
※標準リモコンは下側に約170㎜の空間を確保してください。（リモコンカバーを開けたときの干渉防止のため）
※サウンドリモコン（X3のみ）の場合、左側に約20mmの空間を確保してください。（電池交換のため）



（図は標準リモコン）

❸ リモコンハンガー（またはサウンドリモコン）をねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



（図は標準リモコン）

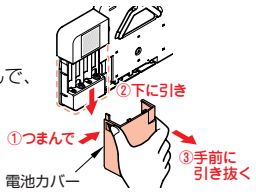
スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。

リモコンを固定する場合に使用してください。取付方法は同梱の説明書をご覧ください。（必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。）

❹ サウンドリモコン（X3のみ）

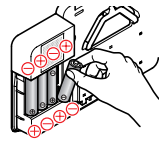
乾電池の場合

①電池カバーをつまんで、下に引き手前に引き抜く

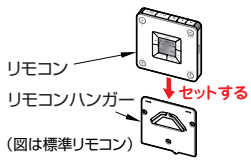


②単3形乾電池4個を入れ電池カバーを取り付ける

※**乾電池は⊕⊖を確認して正しく入れてください。**

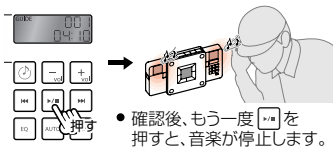


❺ リモコンをリモコンハンガー（またはサウンドリモコン）にセットする



（図は標準リモコン）

❻ サウンドリモコン（X3のみ）音楽が流れるか確認する



- 確認後、もう一度 ▷/■ を押すと、音楽が停止します。

試　運　転

- 試運転の前には必ず「運転入／切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。（「入」のときは「運転」ランプが点灯します。）

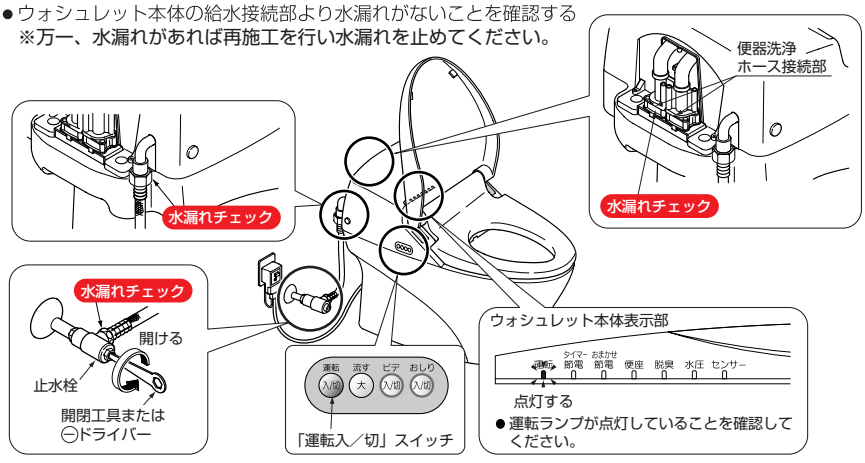
「運転入／切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。

お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入／切」スイッチを切らないでください。

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する

※万一、水漏れがあれば再施工を行い水漏れを止めてください。



2 機能の確認

❶ 電源プラグを入れる

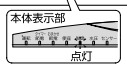
❷ オートプレ洗浄を確認する

- 「オートプレ洗浄入／切」スイッチを「入」にします。

試　運　転

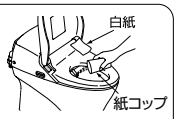
❸ 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。検知するとノズル付近から数秒間水が出ます。
- 便器ボウル面に少量の水が流れますか？確認後、「オートプレ洗浄入／切」スイッチを「切」にしてください。

❹ 脱臭機能を確認する


- 本体表示部の「脱臭」ランプが点灯していますか？

❺ パワー脱臭機能を確認する
- 「パワー脱臭」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか？
- もう一度「パワー脱臭」スイッチを押すと通常の音に戻りますか？

❻ 洗浄機能を確認する


- 「おしり洗浄」「やわらか洗浄」「ビデ洗浄」スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか？

※水が出ないときは取付方法 (2) を確認してください。

- 「水勢調節」スイッチのプラス・マイナスを押すと水勢が変化しますか？
- 「止」を押すと止まりますか？　●吐水は紙コップなどで受けてください。

❼ 乾燥機能を確認する

- 「乾燥」スイッチを押すと温風がノズルの左側から出ますか？
- 「止」スイッチを押すと止まりますか？

❽ 室内暖房機能を確認する（X2・X3のみ）

- 「室暖入/切」スイッチを押すと本体の右側から温風が出ますか？
- 再度「室暖入/切」スイッチを押すと約10秒後に温風が止まりますか？
- 室温が20～33℃のときは20秒間だけ温風が出ます。それ以上の室温のときは温風は出ません。

❾ 暖房便座機能を確認する
- 便座があたたまるまで約15分かかります。

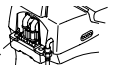
❿ 着座センサーの白紙をはずす

⓫ オートパワー脱臭機能を確認する
- 脱臭音が大きくなりますか？　●約1分後に自動で止まりますか？

⓬ オート洗浄機能を確認する。
- 便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか？

※便器の水の流れが悪い場合は、給水圧が低い可能性があります。本体表示部の「水圧」ランプが点滅していませんか?点滅していれば給水圧が仕様値(0.05MPa)以下だと考えられます。便器部の施工説明書に従って給水圧を調べてください。

※オート洗浄の確認の際に、便器洗浄ホース部から水漏れがないことを確認してください。



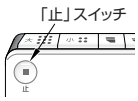
⓭ リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する
- 「リモコン便座・便ふた開閉」スイッチを押すと便座・便ふたが開閉しますか？

⓮ リモコン便器洗浄機能を確認する
※オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。
- 「リモコン便器洗浄」スイッチを押すと便器の水が流れますか？

⓯ オート開閉機能を確認する
- 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。便器から離れて約10秒経過した後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？
- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座、便ふたが自動で閉まりますか？

⓰ オートサウンド機能を確認する（X3のみ）

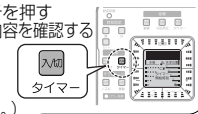
① 便ふたを開いて (⏱) スイッチを「入」にする。
② (AUTO) スイッチを「入」にして便器の前に立つと音楽が流れますか？
③ 確認が終わったら再度 (AUTO) スイッチを押し、「切」にしてください。

⓱ 流動による凍結予防の確認をする


【標準リモコンの場合のみ】
- 次の操作により一定の間隔で水を流して凍結予防します。

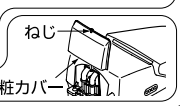
①リモコンの「止」スイッチを10秒以上押す
- リモコンの表示部がすべて点滅します。

②リモコンのカバーを開けて「節電　タイマー入/切」スイッチを押す
③リモコンのカバーを閉めてもう一度「止」スイッチを押し下記の内容を確認する
- ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅しますか？
- 5分後にノズルの根元から水が出ますか？
- さらに5分後に便器洗浄しますか？



④確認が終わったら再度①～③の操作を行う（凍結予防をやめます。）
- ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅から点灯に変わりますか？

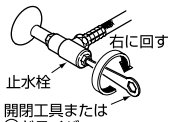
※必ず運転ランプを点灯の状態にしてください。



⓲ 試運転が完了したら化粧カバーを固定する

給水フィルターの掃除

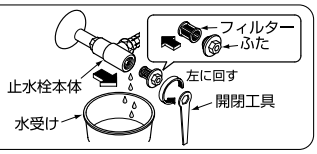
- 給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

❶ 止水栓を閉めて給水を止める


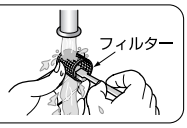
- 止水栓を付属の開閉工具で閉めてください。

⚠ 注意

禁止　**止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない**
- 水が噴き出します。

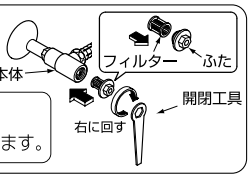
❷ 給水フィルターをはずす


- 開閉工具でフィルターのふたをはずします。
- フィルターが一緒にはずれます。

❸ 掃除をする


- フィルターを取りはずし、網目に詰まったゴミを水洗いして取り除いてください。

※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
※止水栓本体の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

❹ 給水フィルターを取り付ける


- 元のように組み込み、開閉工具でフィルターのふたを締めてください。

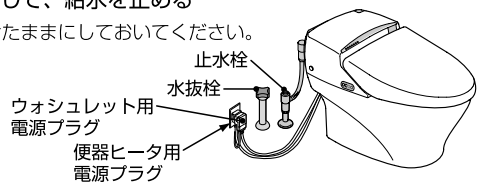
⚠ 注意

必ず守る　**給水フィルターは確実に締める**
- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

❺ 止水栓を開ける
- 止水栓を開閉工具で開けてください。
- 止水栓及び配管接続部から水漏れしていないか確認してください。

凍結のおそれがあるときの処置（ヒータ付便器・水抜併用方式の場合）

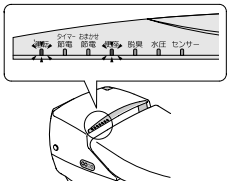
❶ 水抜栓を操作して、給水を止める
※止水栓は開けたままにしておいてください。



❷ ノズル内の水を抜く
①リモコンの「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す
②水抜きが終わったら、もう一度「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す
（ノズルを元に戻します。）

（図は標準リモコン）

❸ ウォシュレット内を保温する
①本体操作部の「運転入／切」スイッチが入りであることを確認し、リモコンの便座温度の設定を「高」にする
②便ふたを閉める



❹ 便器ヒータ用の電源プラグが差し込まれていることを確認する

工事店様へ

- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、下記手順で大洗浄6L（小洗浄5L）仕様を大洗浄8L（小洗浄6L）仕様としてお使いいただけます。
  ①ウォシュレット本体操作部の「運転」スイッチを押し「切」にする
  - ウォシュレット本体表示部のランプが全て消灯します。

  ②ウォシュレット本体操作部の「流す」スイッチを10秒以上押し続ける
  - ピッと音が鳴れば設定完了です。
    （元の仕様に戻す場合は「流す」スイッチを10秒以上押し続け、ピーッと鳴ることを確認してください。）

  ウォシュレット本体操作部の「運転」スイッチを「入」にして、試運転をしてください。
- 開閉工具は施工後お客様にお渡しください。
- スティックリモコン用の盗難防止用部品を使用しない場合は、お客様にお渡しください。
- 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。
  （ただし、凍結が予想される場合は、電源プラグを抜かないでください。）
- 連立対応について（URL）http://buhin.toto.co.jp/「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法（リモコン連立対応など）」をご覧ください。